

「生涯活躍のまち」構想に関する経緯と本検討会の趣旨

1 国の動き

- 平成 27 年 12 月 11 日日本版 C R C 構想有識者会議により「生涯活躍のまち」構想（最終報告）がまとめられた。（以下、最終報告より抜粋）

- ・ 「生涯活躍のまち」構想は、「東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくり」を目指すものである。
- ・ 本構想の意義としては、①高齢者の希望の実現、②地方へのひとの流れの推進、③東京圏の高齢化問題への対応、の3つの点があげられる。

[参考] 内閣府調査「各地域の意向等調査結果」（平成 28 年 10 月 1 日現在）

- 推進意向がある 236 団体
（県内：新潟市、糸魚川市、妙高市、南魚沼市、聖籠町）
- 構想等を既に策定 27 団体 ○ 既に取組を開始 71 団体

2 町の動き

- 研究会（会長：窪田昌行 N P O 法人高齢者コミュニティ代表）を設置し、町における「生涯活躍のまち」構想の実現可能性について調査・研究を行った。

[開催実績] 平成 28 年 3 月～平成 29 年 3 月の間で計 7 回。

住民シンポジウム（平成 28 年 12 月）を開催

（研究会報告）【聖籠町版生涯活躍のまち構想の基本コンセプト】

- ・ 地域包括ケアシステムを中心とした生涯活躍のまち
- ・ 若者、ファミリー層、高齢者が「多世代共生」する生涯活躍のまち
- ・ 交流機能を導入し、地域に開かれた生涯活躍のまち

3 本検討会の趣旨

- 研究会報告を受けて、町における「生涯活躍のまち」構想を検討するにあたって、町民等の意見を反映させるためのもの。

[検討事項]

- ・ 「生涯活躍のまち」構想に係る基本的方向
- ・ 「生涯活躍のまち」構想に関し、町が総合的かつ計画的に講ずべき施策など